

## 令和5年度 MISA 新入社員研修（二次募集のご案内）

今般、協会主催にて新入社員研修を開催いたします。

システムエンジニアに必携の基盤技術の基礎を習得し、業務アプリケーション開発演習を通じて新入社員の開発実装力の養成と技術思考スキルの向上を図るとともに、社会人として必要な基本動作、各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の習得を通じ、新入社員の総合的な実務基礎力の養成と社会人意識の定着を図ります。

技術系コースでは、通販サイト構築を題材として、各技術分野のスキルを横断した問題解決的な研修プロセスを提供することで、プロフェッショナルな IT エンジニアの基盤となる資質・能力を育てていくことを目指したカリキュラム構成を行っています。そのために、受講者個々に対して、主体的・対話的・深い学びの場を提供できるよう、また他者と共に創造力を発揮し、協働して解決していく探求的な学びを得ていただけるよう研修設計を行っています。

ぜひ、この機会にご活用ください。

### 記

- 主 催**：一般社団法人宮城県情報サービス産業協会
- 対 象**：令和5年度採用の新入社員
  - ・新卒者に限らず、第二新卒・中途採用の方もご参加いただけます。
  - ・MISA 会員・非会員、出身学部、プログラミング経験等は問いません。
- 研修期間**：令和5年4月5日（水）～6月23日（金） 計55日間 各日9：30～17：30
  - ・日程の詳細、内容は別紙カリキュラムをご参照ください。
- 受講料**（55日間、1人あたり）：
  - MISA 会員企業（正会員・賛助会員・特別会員） 605,000 円
  - 会員外企業 726,000 円
  - いずれも、消費税 10%・資料代を含みます。

### <参考> コース単位の参加の場合（二次募集ではのみ受け付けます）

コース区分	日程	会員企業 受講料(税込)	会員外企業 受講料(税込)
ビジネス基盤養成	4/5(水)～4/14(金) 8日間	88,000 円	105,600 円
システム開発技術者育成	4/17(月)～6/2(金) 32日間	352,000 円	422,400 円
業務システム開発プロジェクト演習	6/5(月)～6/23(金) 15日間	165,000 円	198,000 円

5. 定 員：50 名

二次募集では、システム開発技術者育成・業務システムプロジェクト演習のみ、各 5 名程度の受付となります。

6. 実施形式および会場：

本研修は、宮城県および仙台市のガイドライン等を遵守し、集合形式で開催いたします。

会場：仙台市中小企業活性化センター セミナールーム（仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6 階）  
検温、手指消毒、ソーシャルディスタンス等のご協力をお願いいたします。

ただし、感染症拡大の状況等により、オンライン形式に切り替える場合がございます。

7. 申込方法および募集期間（二次募集）：

下記受付期間に、別紙申込書を MISA 事務局までメールまたは FAX でお送りください。

申込受付期間：令和 5 年 1 月 16 日（月）～ 令和 5 年 1 月 30 日（月）17 時

システム開発技術者育成・業務システムプロジェクト演習のみの受付となります。

定員に達した場合は早期に締め切ります。

8. お問合せ先：

研修内容に関すること；

（公財）仙台市産業振興事業団 及川 （人財委員会・育成 G 新人研修担当）

TEL； 022-724-1125 e-mail； itsuishin@siip.city.sendai.jp

申込、受講料に関すること；

MISA 事務局

TEL； 022-217-3023 FAX； 022-217-3055 e-mail； misa@misa.or.jp

[添付別紙]

別紙 1： MISA 新入社員研修の基本体系

別紙 4： 新入社員研修申込書

別紙 2： MISA 新入社員研修・カリキュラム

別紙 5： 【参考】フォローアップ研修内容

別紙 3： 申込にあたっての留意事項

別紙 6： 【参考】人材開発支援助成金

**「人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)」など助成金活用をご検討ください！**

MISA 新入社員研修は、宮城県の認定職業訓練です。

活用にあたっては、各社で事前に直接、各都道府県の労働局へ照会・ご相談をお願いします。

人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）について（厚生労働省 Web ページ）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

# MISA新入社員研修の基本体系

## <育成人材像> MISA 企業の中核となり、将来を担うシステムエンジニアの育成

### ① コミュニケーション

コミュニケーション力を発揮しながら、課題解決へ向けた具体的な行動の取れる人材  
(プレゼン、論理思考、情報活用)

### ② システム化思考力 (業務応用力)

システムの構想から開発までのプロセスを理解し、顧客目線も交えてシステム化思考できる人材  
(SE 業務プロセスの模擬体験、品質、納期など)

### ③ 技術の本質的理解

プログラムの動作原理 (ロジック) を理解しシステム開発において応用できる人材  
(アルゴリズム、DB、MVC モデル)

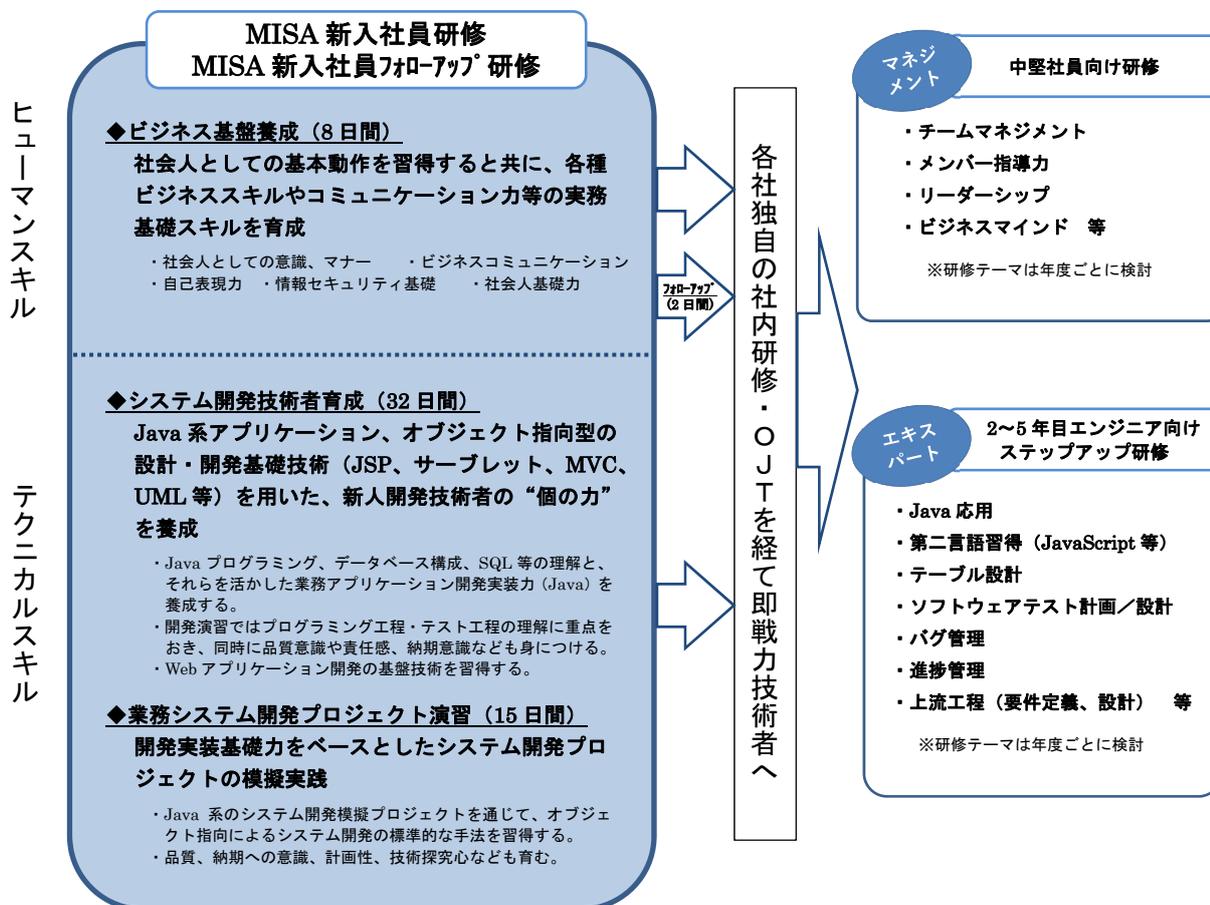
### ④ 自発性・意欲

自らの仕事の意味をしっかりと理解し、自発的に勉強し、考え、活躍しようとする人材  
(自学の習慣づけ、技術を自ら追求する姿勢)

## <MISA 人財委員会・育成 G 研修体系イメージ>

1 年目 (新入社員)

2 年目以降 (若手～中堅社員)





## 令和 5 年度 MISA 新入社員研修 カリキュラム

① ビジネス基盤養成 (8 日間) 4/5 (水) ~4/14 (金) 各日 9:30~17:30

<b>コースの目的・狙い：</b>
社会人としての基本動作を習得すると共に、MISA 訓練ならではの特色であるビジネスの実践の場で要求される各種ビジネススキルやコミュニケーション力等の実務基礎スキルを育成します。
<b>対象・前提条件：</b>
令和 5 年度の新入社員 (新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む)
<b>育成・到達目標：</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ビジネスマナーの基本動作ができる。 (挨拶、言葉遣い、接客・電話応対、身だしなみ、名刺交換等)</li> <li>2. 組織で働く上での基本動作ができる。 (ビジネス文書作成、報連相、効率性/正確性、PDCA、情報セキュリティ等)</li> <li>3. 協調性・柔軟性を持った組織内・外コミュニケーションが実践できる。 (チームワーク形成、ミーティング、職場の人間関係形成、接遇等)</li> <li>4. 主体性・積極性を持った応用コミュニケーションが実践できる。 (論理思考、プレゼンテーション、積極的傾聴等)</li> <li>5. ビジネスコミュニケーション力を駆使し、実際の現場で即戦力となるビジネス活動ができる。</li> </ol>

## カリキュラム：

科目・日程	概要	講師
開講式 (合同) 4/5(水) 9:20~ 開講挨拶、及びオリエンテーション		
<b>ビジネスマナー&amp;コミュニケーション</b> (3 日間) 4/5(水) ~ 4/7(金)	<b>ビジネスマナー、コミュニケーション基礎</b> ・社会人必須の各種マナーをはじめ、指示の受け方、報告の仕方、言葉遣い、接客・電話応対、接遇など現場で必須となる基本行動・コミュニケーション力について、社会人としての意識や人間関係・信頼関係の構築も交えて学習。 ・ロールプレイング等を中心とした内容により、着実な定着と職場での実践につなげる。	キャリアトーク 志伯 暁子 (仙台市)
<b>情報セキュリティ基礎</b> (1 日間) A クラス・B クラスともに 4/10(月)	<b>情報セキュリティ基礎</b> ・一般的な業務に潜む情報セキュリティ上のリスク (情報の保管、記憶媒体の管理、e-mail の利用、個人情報保護など) を想定し、その対策について学習。	ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)

<p><b>ビジネスコミュニケーション&amp;プレゼンテーション</b> (2日間) Aクラス； 4/11(火)～4/12(水) ※プレゼン実習 4/12(水) Bクラス； 4/13(木)～4/14(金) ※プレゼン実習 4/14(金)</p>	<p><b>ビジネスコミュニケーション</b> ・仕事の進め方とその中でのコミュニケーションの役割や重要性を学び、必要となる顧客対応力（ヒアリング、e-mail、コンプライアンスなど）に関する応用的なコミュニケーション力を養う。</p> <p><b>論理思考、プレゼンテーション</b> ・ロジカルな思考力の鍛錬や相手に説明するためのシナリオ構成の仕方、プレゼンテーションのスキルについて学習。</p>	<p>マネジメントテクノロジーズ,LLC 尾田 友志 (東京都)</p>
<p><b>ヒューマンスキル&amp;ビジネス文書作成</b> (2日間) Aクラス； 4/13(木)～4/14(金) Bクラス； 4/11(火)～4/12(水)</p>	<p><b>仕事とチームワーク、ビジネス文書</b> ・仕事への取組意識、対人折衝、チームワークなど社会人必須のヒューマンスキルに関して、グループでの演習を交えながら実践的に学習。 ・社内外で必要となる文書作成の基本から、議事録・報告書の作成など文書作成を幅広く学習。</p>	<p>ホライズンコンサルティンググループ(株) 庄司 和弘 (仙台市)</p>
<p><b>修了式（合同）</b> 4/14(金) 17：30～ 修了挨拶、及び修了証配布</p>		

- ※ 4/5～4/10は1クラスにて実施、4/11～14は2クラスに分割して実施します。
- ※ 所属クラスは原則として企業単位で配分させていただきます。
- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
- ※ 集合形式で実施予定ですが、感染症拡大の状況等により、実施方法を変更する場合がございます。
- ※ 集合形式では、PC等の機材は会場で用意します。
- ※ 土曜日・日曜日は休講です。

② システム開発技術者育成（32日間） 4/17（月）～6/2（金） 各日 9：30～17：30

講師：（株）JC-21 教育センター 教育部 課長 山田 洋（仙台市） ほか

<b>コースの目的・狙い：</b>
アプリケーション開発に不可欠な情報処理の基礎技術と開発実装力を養います。Java によるプログラミング力の育成とデータベース構成や SQL、サーバサイド技術の基礎を理解するとともに、MVC モデルを用いた業務アプリケーションの開発演習を通じ、開発現場における実務的な留意点や品質意識、納期意識なども同時に学びながら、実装・テストのスキルについて理解を深めます。開発演習は個人・少人数チームで行い、参加者個々が着実に開発実装力を高めることを狙いとしています。
<b>対象・前提条件：</b>
プログラマーやシステム開発技術者に必要な IT 基礎知識や開発実装力の育成をしたい企業の、令和 5 年度の新社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）。事前のプログラミング経験の有無は問いません。
<b>育成・到達目標：</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. プログラミングに必要な論理的思考力を習得する。</li> <li>2. Java の言語仕様、プログラムの基本原理を理解し、実装できる。</li> <li>3. 業務系システムの必須技術であるデータベースの基本技術を理解し実装できる。</li> <li>4. Web アプリケーション開発に必要な実践技術（JSP、サーブレット、MVC モデル等）を理解する。</li> <li>5. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。</li> </ol>

カリキュラム：

科目・日程	概 要
<b>開講式</b> 4/17(月) 9：20～	開講挨拶、及びオリエンテーション
<b>システム開発プロセスと開発基礎知識</b> 4/17(月) (1 日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IT 技術者に求められる資質のほか、システム開発における各工程（要求分析、要件定義、設計、コーディング、テスト、納品）の概要と留意点を学習する。</li> <li>・ コンピュータシステム基礎および周辺知識を学習する。</li> </ul>
<b>Java プログラミング①</b> ／基本構文 4/18(火)～4/24(月) (5 日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ プログラミング言語に触れながら、Java の特徴やデータ型、基本構文（条件分岐、繰り返し、演算子）を学習する。</li> </ul>
<b>Java プログラミング②</b> ／クラス・メソッド 4/25(火)～5/1(月) (5 日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的を実現するための Java 構文、クラスやメソッド、オブジェクトを学習し、プログラミング基礎力の定着を図る。</li> <li>・ アルゴリズム基礎を学習する。</li> </ul>

<b>オブジェクト指向 Java プログラミング</b> 5/2(火) ~ 5/11(木) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務アプリケーション開発を見据え、例外処理、抽象化などの Java 構文を学習する。</li> <li>・クラスの継承や多態性、カプセル化などオブジェクト指向の概念に触れながら、Java 言語の理解を深める。</li> </ul>
<b>ソフトウェアテスト技法・ UML</b> 5/12(金) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムやソフトウェアの開発プロセスにおけるテストの位置づけを理解し、品質の重要性を理解する。</li> <li>・品質を保证するためのテストケースを作成するための基本技法を学習する。</li> <li>・思考の整頓・発展、および他者への統一的表現の手段として UML を理解する。</li> </ul>
<b>RDB 入門と SQL 言語</b> 5/15(月) ~ 5/17(水) (3日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースシステムの概要、SQL 言語を学習。</li> </ul>
<b>DB 設計基礎</b> 5/18(木) (1日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベースの構造や ER 図による整合性のあるデータベース設計を学習。</li> </ul>
<b>サーバサイド プログラミング</b> 5/19(金) ~ 5/25(木) (5日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動的 Web ページ作成に必要な JavaScript について、基本構文、オブジェクト、DOM 操作を中心に学習する。</li> <li>・MVC モデル設計について学習し、課題演習のシステム設計へとつなげる。</li> <li>・通信プロトコル、HTML や HTTP といった関連技術の要点とともに JSP/Servlet を学習し、Web アプリケーション開発力を支える基盤技術として吸収する。</li> </ul>
<b>業務アプリケーション プログラミング演習</b> 5/26(金) ~ 6/2(金) (6日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Java アプリケーション開発演習を行い、実装力を育成する。</li> <li>・講師提示の課題（設計書）に基づき、プログラミング工程とテスト工程の演習を通して、業務アプリケーション開発について理解を深める。</li> </ul>
<b>修了式</b> 6/2(金) 17:30~ 修了挨拶、及び修了証配布	

- ※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。
- ※ 講義演習中に小テスト等を行い、受講者の理解度等をこまめに把握しながら進行します。
- ※ 実習はフレームワークを利用し Windows10 上で実施。DB は汎用性の高い MySQL を利用。  
使用予定：JDK、MySQL、Tomcat、VSCode（状況により Eclipse）、GoogleDrive、GoogleForm、7zip 等
- ※ 集合形式で実施予定ですが、感染症拡大の状況等により、実施方法を変更する場合がございます。
- ※ 集合形式では、PC 等の機材は会場で用意します。
- ※ 土曜日・日曜日のほか、5/3、5/4、5/5 は休講です。

**業務システム開発プロジェクト演習（15日間）6/5（月）～6/23（金） 各日 9：30～17：30**

**講師：**（株）JC-21 教育センター 教育部 課長 山田 洋（仙台市） ほか

**コースの目的・狙い：**

オブジェクト指向を用いたシステム開発の設計・実装力を養成します。前コースまでに習得した Java、SQL、サーバサイド技術、MVC モデルの概念等の要素技術の定着を中心としながら、PBL（Project Based Learning）による Java 系 Web システム開発模擬演習を通して、システムの設計から実装、テストまで一連の開発工程に対する理解を深めます。

開発演習では、IT 企業の要望の高いコミュニケーション力やチームワーク、主体性、計画力、実行力、要求の分析やユーザ視点など、開発現場で要求される人間力も同時に養うことができます。

**対象・前提条件：**

開発工程一連の理解と、設計・実装力の育成を重視する企業の、令和 5 年度の新入社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）。

（「②システム開発技術者育成」相当のスキルがあることを前提としています。同コース未受講の方でも参加できますが、その場合は Java プログラミング、JDBC、データベース、サーバサイド技術等について事前に社内教育等で習得していることが参加条件となります。）

**育成・到達目標：**

1. Java 系の模擬 IT システム開発プロジェクトの実践を通じて、オブジェクト指向によるシステム開発の標準的な手法や流れを理解する。
2. 与えられた要件定義書を基に、必要な機能の分析を行い、設計、コーディング、テストを実践する。
3. 定期的に要件の確認、レビューを行い、SE として必要な基本動作・コミュニケーション能力を実践できる。
4. 例外処理、バグなど開発現場における必須の留意点を同時に学び、ソフトウェアの品質意識を持つ。
5. チームでのプロジェクト推進の実体験を通じて、リーダーシップやコミュニケーション、主体性や計画力、納期を意識した行動を現場で実践できる。

**カリキュラム：**

<p><b>業務システム開発プロジェクト演習</b> 6/5(月)～6/23(金) (15日間)</p> <p>※参観(予定)：中間レビュー 最終プレゼン</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Java 系業務システムを題材に、講師提示の課題に基づき、チームにて要件定義、設計、開発、テストまでの Web アプリケーション開発プロジェクトの流れを実践する。</li> <li>・他社参加者との混合チームを編成し、顧客・上司の役割を兼ねる講師の指導を受けながら、開発プロジェクト遂行の疑似体験を通じて開発総合力を演習主体で養成する。</li> </ul>
<p><b>修了式</b> 6/23(金) 17：30～ 修了挨拶、及び修了証配布</p>	

※ 受講者の習熟度等に応じた柔軟な対応を行う目的において、カリキュラムや時間配分を一部変更する場合があります。

※ 開発環境・使用ツール・機材等は「システム開発技術者育成」に準じます。

※ 集合形式で実施予定ですが、感染症拡大の状況等により、実施方法を変更する場合がございます。

※ 土曜日・日曜日は休講です。

## その他、補足情報

### 【受講者交流会の開催について】

感染症拡大防止の観点から、受講者交流会は行いません。

### 【企業関係者の参観について①】

「ビジネス基盤養成」におけるプレゼンテーション実習では、受講者各々がテーマに沿ったプレゼンを行い、講師の指導を受ける様子をご参観いただけます。

#### 「ビジネス基盤養成」プレゼンテーション実習

日時； Aクラス：4/12(水)、Bクラス：4/14(金)それぞれ午後を予定  
会場； 仙台市中小企業活性化センター セミナールーム  
(仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6 階)

- ・当実習の参観は任意です。
- ・時間は午後半日を想定していますが、4/5 頃に詳しいスケジュール、プレゼンテーマ、参観案内を各企業ご担当者様へお知らせいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、規模を縮小、または中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

### 【企業関係者の参観について②】

「業務システム開発プロジェクト演習」では、設計のレビューおよび最終日の成果発表会を企業関係者の参観機会として予定しております。

詳細は後日お知らせいたします。

R05MISA新入社員研修カリキュラム (R05/4/5~6/23 55日間)

コース区分

①ビジネス基礎養成	4/5(水)~4/14(金) 8日間
②システム開発技術養成	4/17(月)~6/2(金) 32日間
③業務システム開発プロジェクト演習	6/5(月)~6/23(金) 15日間
講義時間 9:30~17:30 (昼休憩1時間、小休憩含む)	

日 程	科 目	内 容 (抜粋)
4月1日 土		
4月2日 日		
4月3日 月		
4月4日 火		
4月5日 水	ビジネスマナー&コミュニケーション-1	社会人の心構え、ビジネスマナー、挨拶、言葉遣い
4月6日 木	ビジネスマナー&コミュニケーション-2	敬語、接客応対、電話応対
4月7日 金	ビジネスマナー&コミュニケーション-3	言葉がけ、話し方トレーニング、総合演習
4月8日 土		
4月9日 日		
4月10日 月	情報セキュリティ基礎	情報セキュリティ基礎

<Aクラス>		
日 程	科 目	内 容 (抜粋)
4月11日 火	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-1	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-1
4月12日 水	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-2	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-2
4月13日 木	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-1	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-1
4月14日 金	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-2	ビジネスコミュニケーション&プレゼンテーション-2
4月15日 土		
4月16日 日		
4月17日 月	システム開発プロセスと開発基礎知識	SECに求められる役割、開発プロセス、開発言語
4月18日 火	JavaプログラミングI/基本構文-1	Java、コンパイルと実行、変数、定数、データ型
4月19日 水	JavaプログラミングI/基本構文-2	演算演算子、分岐
4月20日 木	JavaプログラミングI/基本構文-3	繰り返し、インクリメントとデクリメント、配列、アルゴリズム
4月21日 金	JavaプログラミングI/基本構文-4	繰り返し、条件分岐、配列、問題演習
4月22日 土		
4月23日 日		
4月24日 月	JavaプログラミングII/クラス、メソッド-1	オブジェクト指向概論①、クラス、メソッド、インスタンス
4月25日 火	JavaプログラミングII/クラス、メソッド-2	クラス設計演習
4月26日 水	JavaプログラミングII/クラス、メソッド-3	参照型とメソッド、引数、戻り値、スコープ、カプセル化
4月27日 木	JavaプログラミングII/クラス、メソッド-4	クラス設計演習、APIクラス
4月28日 金		
4月29日 土		
4月30日 日		

日 程	科 目	内 容 (抜粋)
5月1日 月	Javaプログラミング② /クラス、メソッド-5	クラス、メソッド、問題演習
5月2日 火	オブジェクト指向 /Javaプログラミング-1	コンストラクタ、thisキーワード、例外と例外処理
5月3日 水		
5月4日 木		
5月5日 金		
5月6日 土		
5月7日 日		
5月8日 月	オブジェクト指向 /Javaプログラミング-2	継承、サブクラス定義、オーバーライド、重負とメソッド
5月9日 火	オブジェクト指向 /Javaプログラミング-3	ポリモフィズム、オブジェクト指向キヤスト
5月10日 水	オブジェクト指向 /Javaプログラミング-4	抽象クラス、インタフェース、パッケージ、import、アクセス修飾子
5月11日 木	オブジェクト指向 /Javaプログラミング-5	オブジェクト指向プログラミング問題演習
5月12日 金	ソフトウェアテスト技術・UML	ソフトウェアテスト概論、フローチャート作成、UML概論
5月13日 土		
5月14日 日		
5月15日 月	DB入門ESQL基礎-1	ER図、エンティティ、アトリビュート、リレーション、ACID特性
5月16日 火	DB入門ESQL基礎-2	キー、1:N、N:Nのデータ表現、物連テーブル構造、SQL文
5月17日 水	DB入門ESQL基礎-3	SQL文、演習、外部結合、内部結合、非従、トランザクション
5月18日 木	DB設計基礎	キーと正規化、ER図作成演習
5月19日 金	サーバサイドプログラミング1	MVCモデル、HTMLとJavaScript、サーバサイドスクリプト
5月20日 土		
5月21日 日		
5月22日 月	サーバサイドプログラミング2	サーブレットとJSP、FORM/GET/POST、Request
5月23日 火	サーバサイドプログラミング3	RequestDispatcher概要、コンテキストパス、ページ遷移、Session/Application
5月24日 水	サーバサイドプログラミング4	JDBC概要、Servlet/JDBC-SQLを利用したプログラミング
5月25日 木	サーバサイドプログラミング5	Servlet/JDBC-SQLを利用したプログラミング、Servlet/JSP演習
5月26日 金	業務アプリケーション /プログラミング演習-1	業務アプリケーション作成演習
5月27日 土		
5月28日 日		
5月29日 月	業務アプリケーション /プログラミング演習-2	業務アプリケーション作成演習
5月30日 火	業務アプリケーション /プログラミング演習-3	業務アプリケーション作成演習
5月31日 水	業務アプリケーション /プログラミング演習-4	業務アプリケーション作成演習

日 程	科 目	内 容 (抜粋)
6月1日 木	業務アプリケーション /プログラミング演習-5	業務アプリケーション作成演習
6月2日 金	業務アプリケーション /プログラミング演習-6	業務アプリケーション作成演習
6月3日 土		
6月4日 日		
6月5日 月	業務システム開発 /プロジェクト演習-1	要件定義フェーズ
6月6日 火	業務システム開発 /プロジェクト演習-2	要件定義フェーズ
6月7日 水	業務システム開発 /プロジェクト演習-3	要件定義フェーズ
6月8日 木	業務システム開発 /プロジェクト演習-4	設計フェーズ
6月9日 金	業務システム開発 /プロジェクト演習-5	設計フェーズ
6月10日 土		
6月11日 日		
6月12日 月	業務システム開発 /プロジェクト演習-6	設計フェーズ
6月13日 火	業務システム開発 /プロジェクト演習-7	製造・テストフェーズ
6月14日 水	業務システム開発 /プロジェクト演習-8	製造・テストフェーズ
6月15日 木	業務システム開発 /プロジェクト演習-9	製造・テストフェーズ
6月16日 金	業務システム開発 /プロジェクト演習-10	製造・テストフェーズ
6月17日 土		
6月18日 日		
6月19日 月	業務システム開発 /プロジェクト演習-11	製造・テストフェーズ
6月20日 火	業務システム開発 /プロジェクト演習-12	製造・テストフェーズ
6月21日 水	業務システム開発 /プロジェクト演習-13	製造・テストフェーズ
6月22日 木	業務システム開発 /プロジェクト演習-14	製造・テストフェーズ、納品、プレゼンテーション準備
6月23日 金	業務システム開発 /プロジェクト演習-15	プレゼンテーション準備、プレゼンテーション



## 令和5年度 MISA 新入社員研修 申込に当たっての留意事項（二次募集）

### ① 申込受付期間

二次募集受付期間は令和5年1月16日（月）～令和5年1月30日（月）17時です。この前後での受付はできかねます。なお、定員に達した場合は早期に締め切ります。

### ② 参加対象

新卒者のほか、第二新卒や中途採用の方もご参加いただけますが、研修に専念できるよう社内調整をお願いいたします。業務都合（会社行事等を除く）による欠席は他の受講者の迷惑になる場合がございますので極力避けてください。

### ③ 受付コース

二次募集では、「システム開発技術者育成」「業務システム開発プロジェクト演習」各5名程度を受け付けます。コース区分は「募集のご案内」および「別紙2：新入社員研修カリキュラム」をご参照ください。

### ④ 受講料のお支払い

受講確定後、MISA 事務局より請求書と受講案内をお送りいたしますので、指定期日までに振込をお願いいたします。請求書発行後のキャンセルは原則としてできませんので予めご了承ください。

### ⑤ 事前スキル調査

研修運営やグループ分け等の参考にするため、受講者の属性や技術経験等に関する事前アンケートを2～3月に実施します。アンケートフォーマットは原則メールにてお申込窓口ご担当者様へお送りいたします。

### ⑥ 修了要件について

本研修の修了要件はコース毎に出席率80%以上です。

### ⑦ 別紙5：【参考】「新入社員フォローアップ研修」について（事前調査）

参加を予定される場合は、申込書の「フォローアップ研修」欄に「○」を記入してください（受講義務は発生しません）。本募集の際、定員を超える申込みがあった際に優先的に参加できます。

### ⑧ 別紙6：【参考】「人材開発支援助成金」について

助成金の活用は任意です。活用にあたっては厚生労働省 HP をご参照の上、各労働局へお問合せください。

### ⑨ 感染症対策、オンライン形式への切替えについて

本研修は、宮城県および仙台市のガイドライン等を遵守し、集合形式で開催いたします。検温、手指消毒、ソーシャルディスタンス等のご協力をお願いいたします。

実施前および実施期間中の状況により、オンライン形式に切り替える場合がございますので、予めご了承ください。その場合は速やかに申込窓口ご担当者へお知らせいたします。



## 宮城県情報サービス産業協会 事務局 御中

Fax: 022-217-3055

E-mail: misa@misa.or.jp

**「MISA 新入社員研修」申込書****※申込受付開始 令和4年12月13日10時～**

貴社名			
貴社住所	(〒 )		
申込担当者名		所属・役職	
TEL		E-mail	

参加者氏名		申込コース(○を入力)			事前調査
No	氏名 (フリガナ)	① ビジネス 基盤養成	② システム開発 技術者育成	③ 業務システム 開発PJ演習	フォローアップ 研修
1					
2					
3					
4					
5					
特記事項、ご要望など					
【アンケート】 助成金の利用を予定している場合は助成金名をお知らせください。		(例: 人材開発支援助成金「若年人材育成訓練」)			

## 【一部参加の場合のコース区分】

コース区分		日程
①	ビジネス基盤養成(8日間)	令和5年4月5日～4月14日
②	システム開発技術者育成(32日間)	令和5年4月17日～6月2日
③	業務システム開発プロジェクト演習(15日間)	令和5年6月5日～6月23日

## 【事前調査コース】

コース名	日程
新入社員フォローアップ研修(2日間)	令和5年8月23日～8月24日(予定)

※「フォローアップ研修」の欄は事前調査を目的としています。現時点で受講を予定される場合に「○」を入力してください。本調査の回答による受講義務は発生しません。後日行う正式募集時に優先的に受け付けます。

※研修運営に必要な連絡は原則メールで行いますので、担当者メールアドレスは必ずご記入ください。

※6名以上の申込の際は本用紙を複写してご利用ください。

※受講者の個人情報に関しては MISA 事務局での保管となり、MISA の個人情報保護規定に基づき運用いたします。目的外使用は致しません。





[別紙5:参考]

一般社団法人宮城県情報サービス産業協会  
新入社員フォローアップ研修内容（参考）

◆研修目的：

令和5年度採用の新入社員を対象に、新入社員研修とその後の実務、あるいはOJT／社内教育を踏まえてフォローアップを行い、会社からの期待に応えられる人材になるための主体的な実行力や自己成長力の向上とプロ意識の確立、対人能力やビジネス思考力のアップを図ります。

また、入社から数ヶ月程の期間が過ぎた中で、同世代の異なる企業の受講者間での交流を深め、刺激を享受し、社外人的ネットワークの形成、今後の成長の糧となることも目的としております。

◆受講対象者：

令和5年度採用の新入社員（新卒者のほか、第二新卒、中途採用の方を含む）

※業種、所属部門等は問いません。

※MISA新入社員研修の受講有無や、MISA会員・非会員は問いません。

◆日時：

2023年8月23日（水）～8月24日（木）（2日間） 9：30～17：00

◆会場：

仙台市中小企業活性化センター（AER6F）セミナールーム

※集合形式を想定していますが、新型コロナウイルス感染症等の状況によりZoomによるオンライン開催に変更する場合がございますので予めご了承ください。

◆受講料：

MISA会員：22,000円／非会員：27,500円（いずれも税、資料代込み）

◆定員：

40名（20名×2クラス）

◆お申込：

後日、一般参加者も対象とした募集案内の通知を行います。

新人研修申込時の事前調査欄に「○」を入力した方は優先的に受け付けます。

（裏面につづく）

◆予定カリキュラム：

研 修 名	内 容
<p><b>1.ビジネスマナー&amp;コミュニケーション応用</b></p> <p>A クラス 8月23日(水) B クラス 8月24日(木) 9:30~17:00 (6.5 時間)</p>	<p><b>ビジネスマナーの振り返りと応用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶、名刺交換、敬語、立ち振る舞い、言葉づかいや表現の仕方、電話応対など（ロールプレイング中心）</li> </ul> <p><b>ビジネスの現場でのコミュニケーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの電話応対、真・報連相、相手に合わせて効果的に伝えるスキル、相手を動かす話のまとめ方、スピーチ術、自己理解・他者理解 など（ロールプレイング中心）</li> </ul>
<p><b>2.ビジネススキル&amp;社会人基礎力</b></p> <p>A クラス 8月24日(木) B クラス 8月23日(水) 9:30~17:00 (6.5 時間)</p>	<p><b>周りからの期待に応えるための必要スキルと社会人基礎力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実力ビジネスパーソンに期待される能力</li> <li>・現状の社会人基礎力の自己検証と評価、今後の行動目標設定</li> <li>・主体的キャリア形成と自己能力開発ポイント</li> <li>・自己管理の手法</li> <li>・タイムマネジメント など</li> </ul>

※研修の進捗や受講予定者の状況等により内容や時間配分等を予告なく変更する場合があります。

※新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、受講者交流会は開催しない予定です。

<講師>（※4月実施のMISA新人研修「ビジネス基盤養成」の講師が担当）

1. 志伯 暁子 氏 （キャリアトーク 代表/仙台市）
2. 庄司 和弘 氏 （ホライズンコンサルティンググループ(株) 代表取締役/仙台市）

## 厚生労働省「人材開発支援助成金」について

MISA 新入社員研修の受講にあたっては、厚生労働省「人材開発支援助成金(旧キャリア形成促進助成金)」の活用をご検討ください。

最新情報や各コースの申請要件など、詳細は厚生労働省 HP または各労働局へお問い合わせください。

厚生労働省 HP

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

### ★MISA 新入社員研修で活用されることが想定される助成コース

#### 特定訓練コース

##### 若年人材育成訓練 (OFF-JTのみ)

- 対象企業 大企業、中小企業
- 対象者 申請事業主または申請事業主団体等の構成事業主の事業所の雇用保険被保険者だった日から5年を経過していない労働者であって、かつ35歳未満の被保険者
- 訓練の要件 OFF-JTによる実施  
実訓練時間数が10時間以上

#### 人への投資促進コース

##### 情報技術分野認定実習併用職業訓練 (OFF-JT + OJT)

- 対象企業 大企業・中小企業で、次のいずれかに該当する事業主
  1. 主たる事業が日本標準産業分類の大分類の「情報通信業」であること
  2. IT関連業務を主に担う組織やDXを推進する組織を有していること
- 対象者 次の(1)～(3)のいずれかに該当し、15歳以上45歳未満である労働者
  - (1) 新たに雇い入れた者(雇い入れ日から訓練開始日までが3か月以内であること)
  - (2) 大臣認定申請の前に既に雇用されている短時間等労働者で通常の労働者に転換した者
  - (3) 既に雇用している短時間等労働者以外の者
- 訓練の要件 Off-JTとOJTを効果的に組み合わせた6か月以上2年以下の訓練  
情報処理・通信技術者(P.22参照)の職種に関連する業務に必要な訓練  
大臣認定(職業能力開発促進法第26条の3)を受けた訓練

※R04年度より新設された、「人への投資促進コース：情報技術分野認定実習併用職業訓練」は、OJTとOFF-JTを組み合わせたIT分野の訓練が対象で、従来の「特定訓練コース：認定実習併用職業訓練」よりも助成率が有利です。

★助成率（額） ※中小企業、正規社員対象のみ抜粋

訓練メニュー	対象訓練	経費助成率	賃金助成額	OJT実施助成額	備考	
人への投資促進コース	高度デジタル人材訓練	高度デジタル訓練 (ITSS Lv3,4 以上)	75%	960 円/H	—	資格試験 (受験料) も助成対象
	成長分野等人材訓練	海外を含む大学院での訓練	75%	国内大学院 960 円/H	—	
	情報技術分野認定実習併用職業訓練	OFF-JT + OJT の組合せによる IT 分野の訓練	60%	760 円/H	20 万円	訓練期間 6 カ月～2 年 (要大臣認定) 資格試験 (受験料) も助成対象
	長期教育訓練休暇等制度	長期教育訓練休暇制度 (30 日以上連続休暇取得)	制度導入経費 20 万円	6,000 円/D	—	長期教育訓練休暇制度を導入済みの企業も賃金助成の対象 賃金助成の人数制限を撤廃
		所定労働時間の短縮および所定労働免除制度	制度導入経費 20 万円	—	—	
	自発的職業能力開発訓練	労働者の自発的な職業訓練費用を事業主が負担した訓練	45%	—	—	12 月より助成率引き上げ
定額制訓練	定額制訓練 (サブスク型)	60%	—	—	12 月より助成率引き上げ	
現行コース	特定訓練コース	労働生産性向上訓練 若年人材育成訓練等	45%	760 円/H	—	訓練期間 6 カ月～2 年間 (要大臣認定)
		認定実習併用職業訓練 (OFF-JT + OJT)			20 万円	
	一般訓練コース	上記以外の訓練	30%	380 円/H	—	
教育訓練休暇等付与コース	教育訓練休暇制度 (1 人 5 日以上取得)	制度導入経費 30 万円	—	—		

※厚生労働省 HP、人材開発支援助成金リーフレット等を基に作成

最新情報や各コースの申請要件など、詳細は  
厚生労働省 HP

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html)

または労働局等にお問合せください。

当 MISA 新入社員研修募集案内以外で、申請に必要なドキュメント等の準備が必要な場合は MISA 事務局までご相談ください。なお、申請そのもののサポートは行っておりません。ご了承ください。